

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】令和4年3月1日(2022.3.1)

【公開番号】特開2020-56493(P2020-56493A)

【公開日】令和2年4月9日(2020.4.9)

【年通号数】公開・登録公報2020-014

【出願番号】特願2019-72575(P2019-72575)

【国際特許分類】

F 16 F 15/30(2006.01)

10

F 16 F 15/134(2006.01)

【F I】

F 16 F 15/30 Z

F 16 F 15/134 A

F 16 F 15/134 B

F 16 F 15/134 D

【手続補正書】

【提出日】令和4年2月16日(2022.2.16)

20

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項4】

前記第1ダンパ部は複数の第1弾性部材を有し、

前記第2ダンパ部は複数の第2弾性部材を有し、

前記第1伝達部材は、

円板状の本体部と、

前記本体部から径方向外方に突出して前記チャンバ内に進入し、複数の前記第1弾性部材との間で動力を伝達する複数の係合部と、

を有し、

前記連結部材は、前記第1回転部材の軸方向の第1側の側面に沿って径方向外方に延び、内周端部が前記第1伝達部材の本体部に連結された円板状のプレートであり、

前記第2伝達部材は、

前記第2回転部材の軸方向の第1側において前記連結部材の側面に沿って延び、前記イナ

ーシャ部に固定され、前記第2弾性部材を保持する第1保持部を有する第1保持部材と、

前記第2回転部材の軸方向の第2側に前記第1保持部材と対向して配置され、前記第1保持部材に固定され、前記第1保持部とともに前記第2弾性部材を保持する第2保持部を有する第2保持部材と、

を有する、

請求項3に記載の動力伝達装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

さらに、好ましくは、第2伝達部材は、第1保持部材と、第2保持部材と、を有する。第1保持部材は、第2回転部材の軸方向の第1側において連結部材の側面に沿って延び、イ

40

50

ナーシャ部に固定され、第2弹性部材を保持する第1保持部を有する。第2保持部材は、第2回転部材の軸方向の第2側に第1保持部材と対向して配置され、第1保持部材に固定され、第1保持部とともに第2弹性部材を保持する第2保持部を有する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0041】

以上のような構成により、第1回転部材1の内部には、第1プレート11の外周部と第2プレート12(環状部12a及び外周筒状部12b)とによって囲まれたチャンバーCが形成されている。このチャンバーCの内部には、グリス等の粘性流体が封入されている。 10

【手続補正4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図1

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

30

40

50

【図1】

